

ヒト化マウスモデルに最適な次世代 NOGマウス

壁の向こうへ進む新たなツール

ヒト化マウスモデルの基盤となる重度免疫不全 NOG マウス



公益財団法人実験動物中央研究所では、NOD/scid マウスと、各種のサイトカインレセプター共通ドメインである IL-2 レセプター γ 鎖遺伝子のノックアウト (IL-2R γ KO) マウス (Ohbo K *et al.*, Blood 1996) を組み合わせることにより、極めて重度な複合型免疫不全を呈する“NOG (NOD/Shi-scid, IL-2R γ null) マウス”の樹立に成功しました (Ito M *et al.*, Blood 2002)。引き続き、NOGマウスへのヒト遺伝子導入またはマウス遺伝子除去を行った改良型の次世代NOGマウスの開発が進められています。

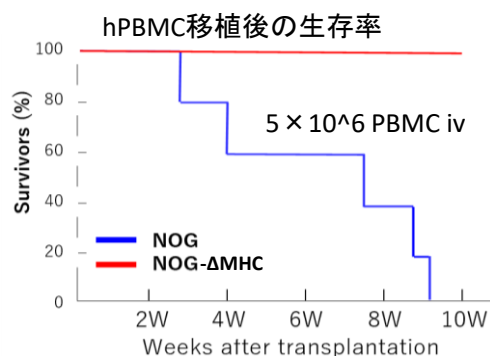
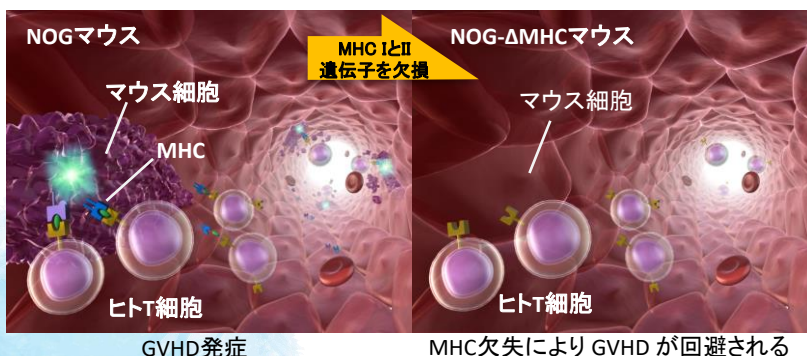
広がるヒト免疫システム再構築モデル ポートフォリオ



NOG- Δ MHC マウス

GVHDを回避してhPBMCでヒト免疫系が構築できるモデル

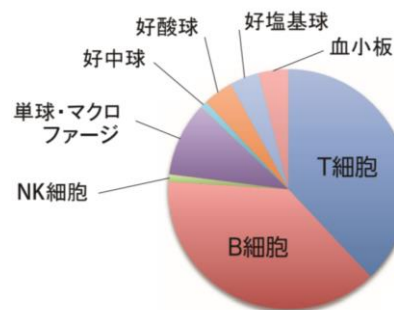
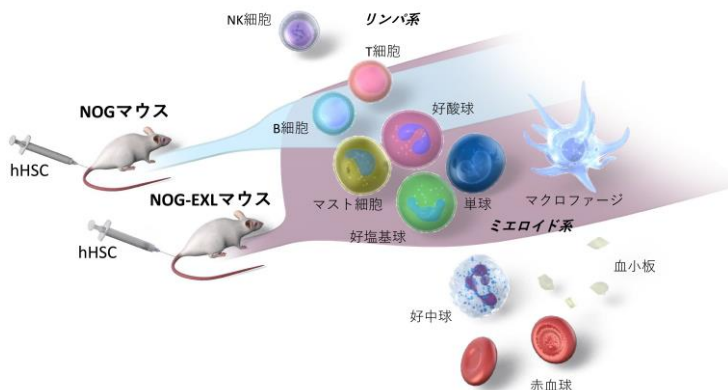
- ・ ヒトT細胞が認識するマウス MHCのClass I 分子の β 2m および Class II 分子の Ia β を欠損させたモデル
- ・ ヒト末梢血単核細胞 (hPBMC) 移植後のXenogenicなGraft Versus Host Disease (GVHD) が緩和され、長期の試験が可能
- ・ 免疫チェックポイント阻害剤の研究に使用可能



NOG-EXL マウス

hHSC移植後ミエロイド系細胞への分化が優勢なモデル

- ・ ミエロイド系細胞分化に重要なヒトGM-CSFおよびヒトIL-3を発現させたモデル
- ・ ヒトマスト細胞を介したアレルギー反応のin vivo評価系やヒト自然免疫応答の解析に使用可能



お問合せ



インビボサイエンス株式会社

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番12

e-mail: sales@invivoscience.com

TEL: 044-201-8518

FAX: 044-201-8519

WEB: www.invivoscience.com